



Trick or Nudge?

10月上旬に、毎年恒例のノーベル賞の発表がありました。今年はノーベル平和賞に被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が受賞することになりました。日本のノーベル平和賞受賞は、1974年の佐藤栄作元総理大臣以来、実に50年ぶりとのことでした。過去の各賞の中でも、比較的理解しやすく興味深そうな研究もありましたが、特に「ナッジ」理論の生みの親であるリチャード・セイラー教授の2017年経済学賞受賞が印象的でした。ナッジとは、行動経済学の分野では「科学的分析に基づいて、人間に『正しい行動』をとらせようとする戦略」として知られています。有名な例として、アムステルダムで経費削減のために男子トイレの小便器の内側に一匹のハエの絵を描いた例があります。これによって飛び散りが8割も減少し、清掃の手間と費用の減少につながりました。一過性のブームだったのか、このハエは今ではあまり日本では見られなくなりました。

私たちは、経済的に不合理な判断を下したり、軽率な行動をとってしまったたり、時には直感的に素早い思考をしてしまうことがあります。では、ここでちょっとした問題を。できるだけ短時間で直感的に教えてください。

あるファーストフード店で「バーガー&ドリンク」が590円で売られています。バーガーは、ドリンクの値段より400円高いそうです。では、セット割引などが無いとすると、ドリンクの値段はいくらでしようか？（答えは裏面にあります）

どうでしょうか？意に反して間違ってしまった人もいるかと思われます。ナッジとはこういった人間の持つ傾向を先読みした上で人を『正しい行動』に導こうとする戦略です。

さて、このナッジの「計画作成効果」を使ってこれからの行動を考えてみましょう。ナッジ研究によると計画を詳細に尋ねることで、とるべき行動を具体的にイメージでき、実際にその行動を起こす可能性が高まるそうです。では、始めます。あなたは、勉強を毎日何時間しますか？ 何時から勉強を始めますか？ 予習、復習のどちらに重点を置きますか？ 書いて覚えますか、見て覚えますか？ 学校、家、塾のどこでしますか？ 一人ですみますか、それとも友達としますか？ どの教科を重点的にしますか？

「学問に王道なし」と言われますが、少しだけナッジという魔法にかかってみましょう。

【11月行事予定】

A：A週 B：B週 行：学校行事 家：家庭学習日 を表します

日	曜	A/B	予 定
1	金	B	
2	土		大学別オープン模試(3年希望者)
3	日		文化の日、大学別オープン模試(3年希望者)
4	月		振り替え休日、IB最終試験(AM PM)
5	火	A	IB最終試験(AM PM)
6	水	A	IB最終試験(AM)
7	木	A	
8	金	A	校外清掃、ヒーター試し焚き
9	土		
10	日		池田地区総合防災訓練(AM)
11	月	B	きずなの日、第3回定期試験時間割発表
12	火	B	
13	水	B	生徒協議会
14	木	B	
15	金	B	

日	曜	A/B	予 定
16	土		
17	日		
18	月	行	第3回定期試験
19	火	行	第3回定期試験、第4回マナーアップ運動
20	水		県民の日
21	木	行	第3回定期試験
22	金	行	第3回定期試験、全統ブレ共通テスト(3年)
23	土		勤労感謝の日、全統ブレ共通テスト(3年)
24	日		
25	月	家	定期試験成績処理日(生徒は家庭学習日)
26	火	A	
27	水	A	
28	木	A	
29	金	A	
30	土		

保護者のみなさまへ

さて、先日の共通テストへの出願に続き、確認はがきが届きました。これから、併願校の受験を含めた具体的な受験計画を立て始める時期となりますが、引き続き、御家庭で話し合いをする機会を持っていただきたいと思います。その際、模試のデータ個票を参考にされるとは思いますが、合否判定だけにとらわれることなく、様々な視点からの検討をお願いします。悔いのない受験のためには、最後まで志望校を安易に諦めることなく、自分の実力向上を目指して日々の努力の積み重ねを大切にしてほしいと思います。学校でも二者懇談などを中心に生徒への助言を行っていきますが、御不明な点などがございましたら、お気軽に担任までお申し出ください。

◎2組担任の大塩未帆先生からの寄稿を紹介します。

朝晩の空気が冴え、いよいよ（やっと）秋本番という雰囲気になりました。毎週末の模試、受験勉強と目の前のことばかりきりのひと月だったと思いますが、たまには遠くに目をやって、かすかな季節の移ろいに心を癒してもらいましょう。人間は“気持ちの生き物”と言われます。癒しはエネルギーになり、また前に進んでいきます。その時にならなければわからない結果に今怯えるのではなく、一步步積み上げているという手応えを感じ続けられるようにね。

◎3組担任の新海大博先生からの寄稿を紹介します。

「新課程1年目」

「皆さんは新課程1年目」よく言われてきたのではないのでしょうか。これまでの学校教育を振り返って、今だから分かることもあると思います。高校では、共通テストに『情報Ⅰ』が初めて入る学年として注目されています。各科目の教科書の中身もかなり変わりましたが、共通テストに関して言えば、他にも国語や数学②が10分増え、休憩を含めれば昨年よりも日程の中で時間が100分近く増加しています。その共通テストに向けて、日夜皆さんが一生懸命取り組んでいる姿を見ると、頭が下がる思いです。

学習指導要領は10年ごとに変わります。これまでの日本での教育の変遷をざっと調べると、教科書難易度最高レベルと言われた昭和46年度(1970)～昭和55年度(1980)の小学校教科書から、授業時数を減らしながら教科書の内容を分かりやすくしたり、要点を絞ったりする中で、道徳教育や総合的な探究の時間など科目を増やしてきました。そして平成23年度(まさに皆さん!)の小学校から授業時数が増え、小学校外国語活動や情報が導入されました。授業時数でいえば極小値を超えた増加の位置にいる、という事になります。

教育の中身も難易度や量が10年ごとに変わっていますが、それは社会の様々なことも同じ。世の中の好景気不景気、労働時間に対する考え方、社会の空気(空気を読まない、のが今の流行りですか)、すべて今と同じことはありません。10年経てば今とは逆の風向きが来る、なんてこともよくあります。大事なものは自分の成長してきた過程で培ってきた考え方や学力を用いて、今の自分が、どう対応し社会に貢献できるのかをその都度考えてほしいですね。

◎3組副担任の平井茂樹先生からの寄稿を紹介します。

もうひと踏ん張りです

皆さん、勉強は進んでいますか。日中は授業、家でも遅くまで勉強、週末も模擬試験と大変な時期ですね。眠気覚ましにはコーヒーかな？

ところでコーヒーに関する豆知識(?)。日本にはお馴染みのコーヒー豆がいくつもあります。「ブルーマウンテン」ジャマイカのブルーマウンテン山脈の限られた地域で栽培。次に「モカ」エチオピアが原産地です。次に「キリマンジャロ」アフリカ、タンザニアで栽培。その他どのコーヒー豆もその地域の環境に耐え生育したため、深い味わいや独特の香りを持っていますよね。これらが日本で味わえるってすごいですね。

私が大学入学後、特に印象に残っていることは「人」でした。全国の様々な地域で育った学生たちが会し、それぞれがその地域や環境で育んだユニークな考え方を持っていて衝撃でした(特に宮崎県のS君の豪快さは忘れられません。えっ! そう考える! ?という感じ)。皆さんは、今は勉強で手いっぱいかもしれませんが、進学後は自分の夢を叶えるための専門的な学習に励むことはもちろんですが、何よりも「人」を始め、多くの経験を味わうことができるはずです。今は大変ですが、卒業後にこれらを存分に味わい堪能できることを目標に、また将来、素敵な実になれるよう頑張りましょう。